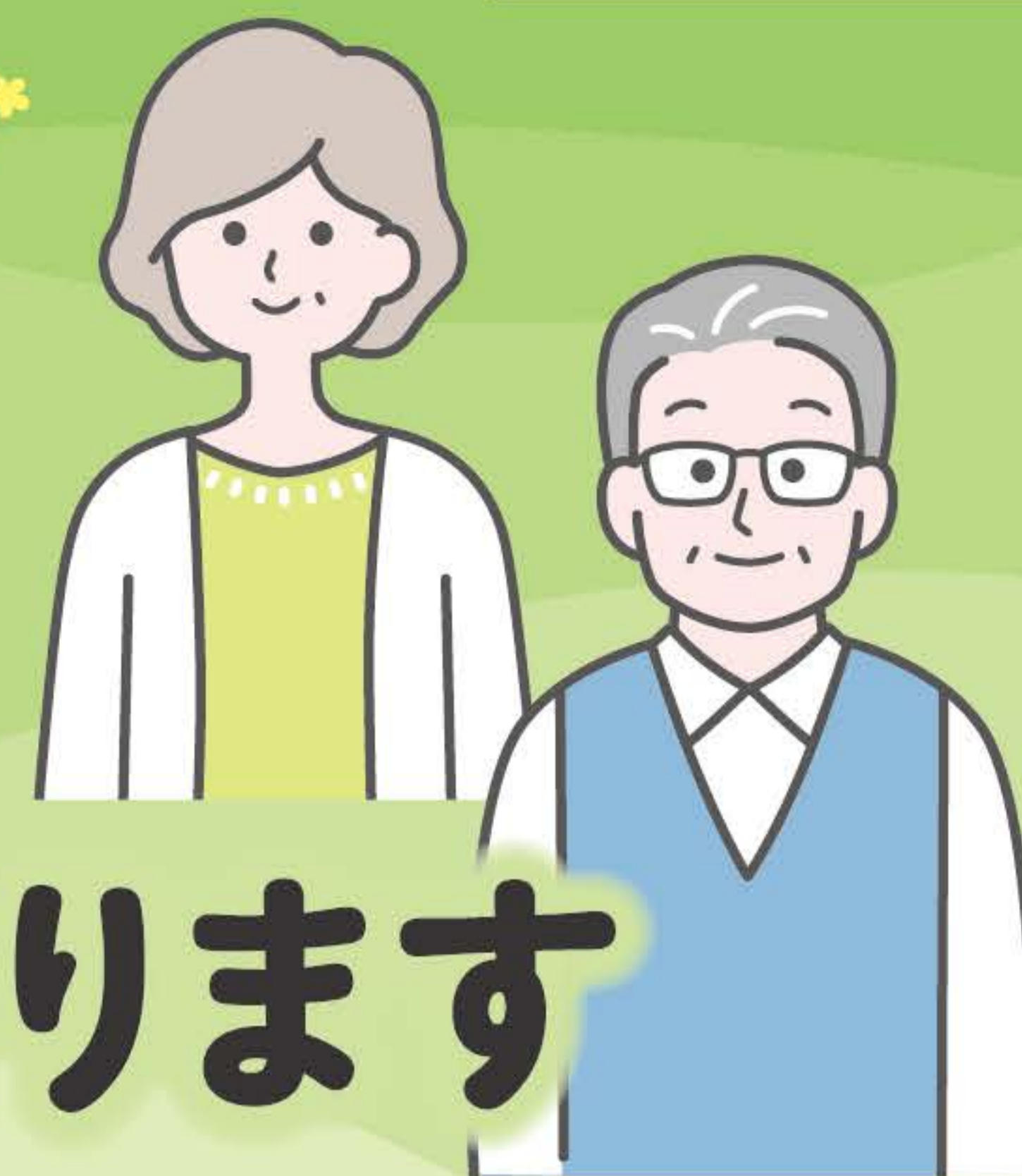


肺炎の主要な原因である



肺炎球菌の感染症を

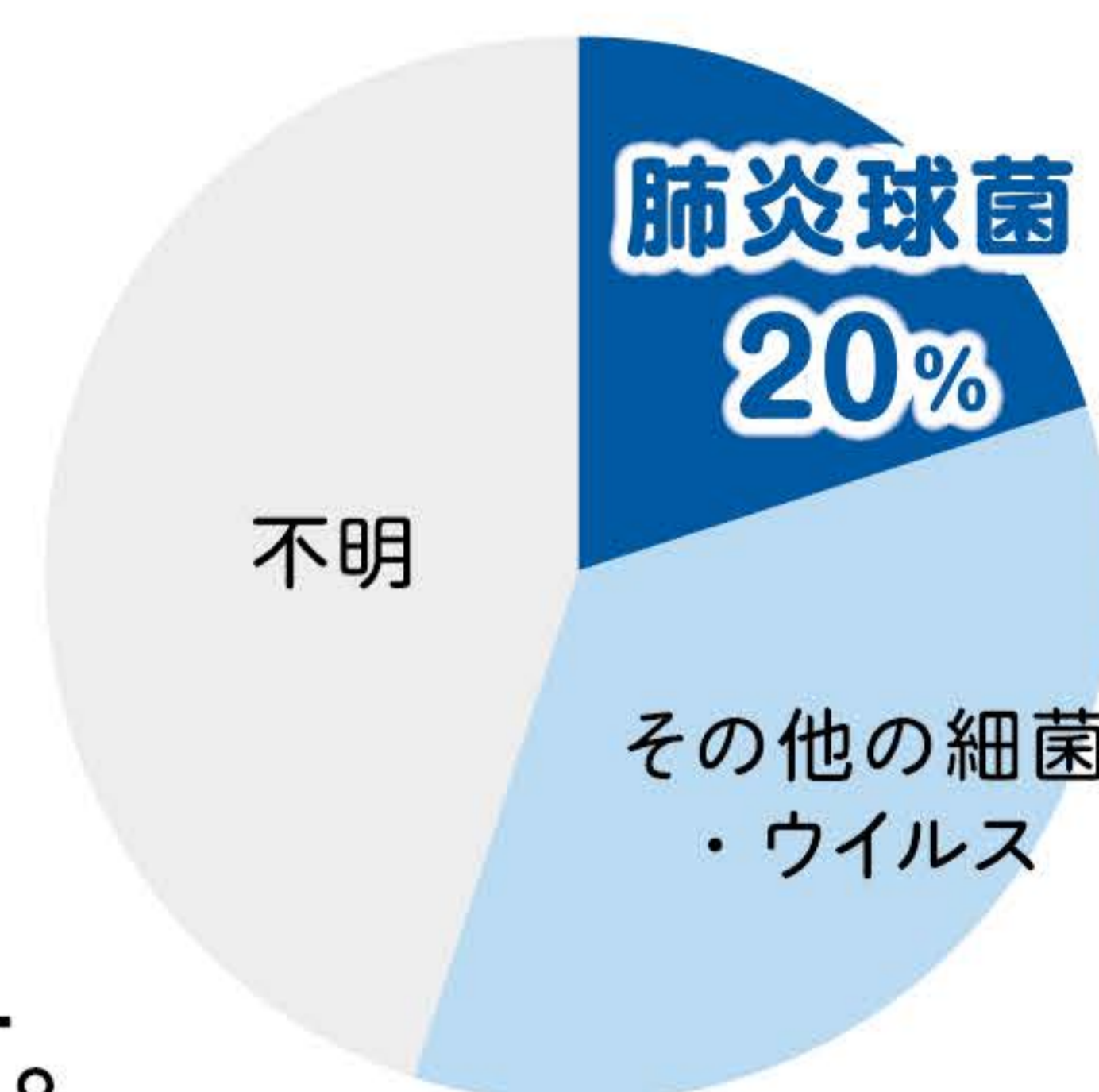
予防できるワクチンがあります

2回目接種の方を対象に 任意接種 を実施しています。

肺炎球菌とワクチンについて

- 肺炎は日本の死亡原因の第5位であり、成人の肺炎の約2～3割は、肺炎球菌という細菌により引き起こされるとの報告があります。
- 肺炎球菌は、このほかにも、血液の中に細菌が回ってしまう敗血症（はいけつしょう）などの重い感染症の原因になることがあります。
- 肺炎球菌による感染症に対して、すべての肺炎などが防げるわけではありませんが、有効性・安全性が確認されているワクチンがあります。

〈肺炎の原因(※)〉



(※) Y Fujikura, et.al. BMJ Open Respiratory Research 2023; 10 (1) :e001800 の結果より作図

任意接種の対象と使用するワクチン

■対象となる方

65歳以上の方で、
初回接種から5年以上経過している2回目接種の方

※令和8年度は、令和2年度に初回接種を行った方にお知らせのはがきをお送りしています

注意

はがきが届いても、過去に自費を含み2回以上接種している方は、対象外です。
接種歴がわからない方は、医療機関にお問合せください。

■任意接種で使用するワクチン

沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)

ワクチンの効果

- 肺炎球菌には100種類以上の血清型があり、任意接種で使用される「沈降20価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)」はそのうちの20種類の血清型を対象としたワクチンです。
- この20種類の血清型は、成人侵襲性肺炎球菌感染症(※)の原因の約5～6割を占めるとい研究結果があります。
- また、このワクチンは、血清型に依らない侵襲性肺炎球菌感染症を約3～4割程度を予防する効果があるという研究結果があります。

(※)侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のことをいいます。

ワクチンの安全性



- このワクチンの接種後に、副反応が生じることがあります。
- 主な副反応には、接種部位の症状(痛み、赤み、腫れなど)、筋肉痛、だるさ、発熱、頭痛などがあります。
- 接種後に気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐ医師にご相談ください。

任意接種を受ける方法・費用

【接種方法】

- 市内医療機関で接種する場合
直接医療機関にご予約ください。
医療機関で配布された「糸魚川市高齢者肺炎球菌予防接種予診票(費用助成用)兼予防接種費用助成金代理受領委任状」を記載し、医療機関に提出することで、助成額を差し引いた額の支払いとなります。
- 市外医療機関で接種する場合
医療機関で接種をし、接種費用を全額支払っていただきます。その後、領収書、振込先がわかるもの、接種内容を証明できるもの、印鑑を持って、健康増進課もしくは能生事務所、青海事務所で手続きをすることで、助成額を指定口座に振り込みます。

【接種費用】

医療機関が定める接種費用から市助成額(下記参照)を差し引いた額

任意接種による健康被害の救済制度について

任意接種は、接種を受ける方が任意で行う接種のことです。
任意接種で健康被害が生じた場合、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が窓口となる、医薬品副作用救済制度の対象になる場合があります。
請求手続き等については、副反応によって健康被害を受けた方が直接、独立行政法人医薬品医療機器総合機構に対して行います。

【市助成額】

- ・生活保護世帯の方 接種費用全額
- ・上記以外の方 3,559円

【問合先】

糸魚川市健康増進課保健係
☎025-552-1511(代表)